



国際会議「世界津波の日高校生サミット in 新潟」参加報告



「世界津波サミット in 新潟」(10月18~20日)が、3年ぶりに開催されました。世界中の学生が集まり、津波などの防災について意見を交換し合うイベントで、全て英語で行われます。本校からは英語部の2名が参加し、津波という同じテーマを共有して朝から晩まで英語でディスカッションを行ったり、チームを代表して全員の前で発表を行ったりするなど貴重な経験をしました。留学生を含め、たくさんの仲間を全国に作る事ができました。

津波避難訓練



5月2日、1年生は津波時の校外避難経路確認のために、学校から泉北有料道路下をクラス単位で回りました。1時間半の行程でしたが、皆さん真剣に取り組んでいました。

津波と地震、市役所で学習



8月25日、災害ボランティア支援事業参加メンバーと世界津波サミット参加メンバーが、高石市危機管理課を訪れ、防災・減災のレクチャーを受けました。

熊本県教委 防災活動視察



熊本県教育委員会の方と先生方7人が、11月21日、本校の「防災・減災」活動の視察に来られました。「たか高」のこれまでの取り組みの報告を、各事業の参加生徒が行いました。

防災国体に参加



「防災国体」(10月22日)に、有志生徒3人が参加しました。3年前に災害ボランティアでお世話になった南三陸町の阿部様から炊出し活動の大切さを教わりました。



災害ボランティア支援事業2022 in 福島県富岡町&宮城県多賀城高校

今回の「災害ボランティア支援」(10月27~29日)では、福島県「とみおかwindメニュー」でのブドウ農園復興ボランティアと、宮城県多賀城高校・災害科学科の活動視察および現地踏査を行いました。6名の生徒が参加し、富岡町では農場のリーダー・細川さんから人口流出という地元の状況の厳しさや、町おこしの大切さを学びました。多賀城高校では、地元高校生が災害当時から地道な地域活動をしており、今も災害科学科の生徒たちに受け継がれて活動している様子を見せてもらいました。この体験を基に、参加生徒は今後、報告会に向けて学んだことをまとめます。